

5 保全利用協定 記入フォーム

共通フォーム	「保全利用協定申請書」
申請フォームNo1	「保全利用協定締結事業者一覧」
申請フォームNo2	「活動内容と今後の展望」
申請フォームNo3	「配慮すべき項目」
申請フォームNo4	「運用上の取り決め」
参考フォームNo1	「協定区域の概要と利用現況」
参考フォームNo2	「同意書」
参考フォームNo3	「話し合い記録」
報告フォーム	「履行状況の報告」
	例：「協定区域のフィールド観察記録」
	例：「協定区域の利用状況記録」

手続きと使用フォームの早見表

フォームの説明	新規申請	変更			報告			更新申請 (期間満了の二ヶ月前～一ヶ月前)
		代表者連絡先の変更 代表事業者及び	協定締結事業者の変更	協定内容の変更	協定区域の変更	定期報告(毎年三月一日～十五日)	随時報告	
「共通フォーム」とは 全ての手続きに必要な文書	●	●	●	●	●	●	●	●
「申請フォーム」とは 協定内容を示す文書	●		●					●
「参考フォーム」とは 協定の参考資料となる文書	●			●				●
「報告フォーム」とは 報告内容を示す文書								
共通フォーム 「保全利用協定申請書」	●	●	●	●	●	●	●	●
申請フォーム No1 「保全利用協定締結事業者一覧」	●		●					●
申請フォーム No2 「活動内容と今後の展望」	●			●				●
申請フォーム No3 「配慮すべき項目」	●			●				●
申請フォーム No4 「運用上の取り決め」	●			●				●
参考フォーム No1 「協定区域の概要と利用現況」	●							●
参考フォーム No2 「同意書」	●							●
参考フォーム No3 「話し合い記録」	●							●
報告フォーム 「履行状況の報告」 例:「協定区域のフィールド観察記録」 例:「協定区域の利用状況記録」						●		●
協定区域を表す地図	●				●		●	●
写真と説明文書(書式自由)							●	
理由と内容を簡潔に示す文書 (書式自由)		●	●	●	●			

沖縄県知事
仲井眞 弘多 殿

保全利用協定について、(**新規**・変更・報告・更新 ※いずれかに○) 手続きをいたしたく、締結事業者を代表して申請いたします。

整理番号 (事務局使用欄)

協定の名称	●●●地区保全利用協定
協定区域	●●●川及び周辺の森林
有効期間	平成○○年○○月○○日 ~ 平成○○年○○月○○日
代表事業者名	●●●川地区保全利用協定締結代表事業者 株式会社▲▲▲
代表者名	代表取締役 ●●●●
連絡先	〒90X-1111 沖縄県●●●市■ ■ ■ 123番地
	Tel 098-111-1XX1
	Fax 098-123-3XX4
	E-mail xxxhozen@nature.com

平成○○年○○月○○日

住 所 〒90X-1234 沖縄県●●●市■ ■ ■ 123番地

代表事業者名称及び代表者名 ●●●川地区保全利用協定締結代表事業者
株式会社▲▲▲ 代表取締役 ●●●●

印

沖縄県知事
仲井眞 弘多 殿

保全利用協定について、(新規・変更・報告・更新 ※いずれかに○) 手続きをいたしたく、締結事業者を代表して申請いたします。

整理番号 (事務局使用欄)

協定の名称	
協定区域	
有効期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
代表事業者名	
代表者名	
連絡先	〒 —
	Tel
	Fax
	E-mail

平成 年 月 日

住 所

代表事業者名称及び代表者名

印

申請フォームNo1 「保全利用協定締結事業者一覧」

代表事業者を含む締結事業者についてご記入ください。

番号	事業者名	連絡先住所
1	株式会社▲▲▲▲ ●●●● 印	〒90X-1111 沖縄県●●●市■●●123番地 TEL 098-111-1XX1
2	▲▲観光株式会社 ●●●● 印	〒90X-2222 沖縄県●●●市■●●1-2-3 TEL 098-222-2XX2
3	有限会社▲▲▲▲▲▲▲▲ ●●●● 印	〒90X-3333 沖縄県●●●市■●●123-45 TEL 098-333-3XX3
4		〒 — TEL
5		〒 — TEL
6		〒 — TEL
7		〒 — TEL

チェック



認定が取り消される場合は、申請した全ての事業者が締結事業者でなくなることを理解しているとともに、HP上で告知されることを承諾します。

※上記に書ききれない場合は、コピーして使用してください

申請フォームNo1「保全利用協定締結事業者一覧」

代表事業者を含む締結事業者についてご記入ください。

番号	事業者名	連絡先住所
1		〒 — TEL
2		〒 — TEL
3		〒 — TEL
4		〒 — TEL
5		〒 — TEL
6		〒 — TEL
7		〒 — TEL

チェック

認定が取り消される場合は、申請した全ての事業者が締結事業者でなくなることを理解しているとともに、HP上で告知されることを承諾します。

※上記に書ききれない場合は、コピーして使用してください

申請フォームNo2「活動内容と今後の展望」

具体的な活動内容とフィールド利用にあたっての展望（保全と利用の方向性、それに向けた計画等）を記入してください。

項目	内 容
活動内容	<p>1. 動力船での遊覧</p> <p>①対象事業者 株式会社▲▲▲及び▲▲観光株式会社</p> <p>②使用する船の種類 株式会社▲▲▲ : ○人乗り○隻、○人乗り○隻 ▲▲観光株式会社 : ○人乗り○隻、○人乗り○隻 船の規格は、全長○○m程度以内、幅員○.○m程度以内、エンジンは○○馬力まで。</p> <p>③運行区間 運行区間は、●●港を基点とし、■■棧橋まで約○○kmの区間。</p> <p>2. カヌーでの自然観察</p> <p>①対象事業者 有限会社▲▲▲▲▲▲</p> <p>②プログラムで使うフィールドの範囲 ●●港または●●港を基点とし、干潟、支流、展示林木道、中州、展望台、■■棧橋を経由し、上流まで約○○kmの区間。また、一部森林内での活動を含む。</p>
フィールド利用にあたっての展望	<p>1. 保全と利用の方向性 私達は、観光客等に、亜熱帯域に生息する動植物を紹介しながら、自然の大切さ等、環境保全意識の向上を図っていきたいと思っております。また、河川環境保全への取り組みや、地元との意見交換など、より地域に根ざした活動を目指します。</p> <p>2. 具体的な活動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動力船クルーズにおいては、マングローブ林の役割や重要性、また環境保全への取り組み等を参加者に伝え、「●●●川地区保全利用協定」の趣旨や意義を理解してもらう。 ・カヌー体験においては、貸し出し艇数を最大○艇までとし、それ以上の場合は遊覧船とのすれ違い・追い越され方法、保全利用協定の趣旨と配慮事項を伝える。 ・動力船の操船について、マングローブ林の倒伏防止などの環境保護や安全のために、巡航速度、徐行区間等、操船マニュアルの見直しを適時行う。

申請フォームNo2「活動内容と今後の展望」

具体的な活動内容とフィールド利用にあたっての展望（保全と利用の方向性、それに向けた計画等）を記入してください。

項目	内 容
活動内容	
フィールド 利用にあ たっての展望	

申請フォームNo3「配慮すべき項目（①自然環境）」

①自然環境、②安全管理、③地域への配慮について、具体的な配慮事項を記述してください。協定区域内に、複数の異なる活動がある場合は、その対応についても記載ください。

配慮項目	内 容
①自然環境	<p>●●●川の持続的な利用と保全を図るため、具体的な配慮事項を以下のとおり定める。</p> <p><参加者への説明></p> <ul style="list-style-type: none"> 乗船にあたってツアー参加者に生態系の重要性を十分説明する。 <p><マングローブ林倒木への対応></p> <ul style="list-style-type: none"> 動力船の曳き波によるマングローブ林への影響の軽減の配慮から、巡航速度を最高〇〇ノットまで、徐行区間は〇ノットまでとする。徐行区間は別紙地図参照。 <p><干潮時の対応></p> <ul style="list-style-type: none"> 干潮時は曳き波によるマングローブ林への影響が大きい為、出来るだけ運行回数を減らす。 <p><混雑の緩和></p> <ul style="list-style-type: none"> フィールドでの混雑緩和のために、1時間あたりの使用する船隻数を〇隻までとする。 <p><■■■棧橋でのルール></p> <ul style="list-style-type: none"> ■■■の見学は、デッキのみを歩き、柵を越えて森林内に踏み込まないように参加者に呼びかける。 <p><野生生物の生息生育環境への配慮></p> <ul style="list-style-type: none"> 食器類等を河川や海等で洗わない。 野生生物の採集を行わない。 入域は原則として日の出から日没までとし、夜間にツアーを行う場合は、野生生物の生息に悪影響を及ぼさないよう特に注意を払う。 <p><ゴミについて></p> <ul style="list-style-type: none"> 事業者はフィールドにあるゴミを積極的に拾う。 年に数回、事業者合同によるゴミ拾いを行う。 <p><協定区域内において立ち入りを自粛する区域の設定></p> <ul style="list-style-type: none"> 決められた歩道、登山道以外は立ち入りを禁止する。 <p><適切なツアーの人数規模></p> <ul style="list-style-type: none"> カヌー1パーティー〇艇

申請フォームNo3「配慮すべき項目（①自然環境）」

①自然環境、②安全管理、③地域への配慮について、具体的な配慮事項を記述してください。協定区域内に、複数の異なる活動がある場合は、その対応についても記載ください。

配慮項目	内 容
①自然環境	

申請フォームNo3「配慮すべき項目（②安全管理）」

配慮項目	内 容
②安全管理	<p><動力船></p> <p>■乗船</p> <ul style="list-style-type: none"> 適切な誘導（一人ずつ順番、段差等で注意を促す）。 全員着席していることを確認後、離岸する。 前方、後方、左右、周囲の安全を確かめる。 <p>■航行</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全な速力（区間別に定めた航行速度の遵守、その他、視界、潮流、風雨、水深、障害物、他船との関係、自船の状態等を考慮） 徐行区間 <ul style="list-style-type: none"> 下記に示す区間は、曳き波を立てない程度の速度〇ノット以下。 <ul style="list-style-type: none"> ●●●の船溜まり付近。 見通しの悪い急なカーブ。 他船と行き違うとき。 カヌー等の非動力船と出会ったとき。 緊急時を除き、急激なアクセル操作をしない。 右側通行を原則とする。 行き違いの際は、早めに減速し、大きな曳き波を立てないようにする。 追い越しをかける必要があるときは、無線を利用または警笛を鳴らすなど前船に合図をして、周囲の安全を確認してから追い越すようにする。 干潮時の浅い場所での追い越しは、禁止。 干潮時の遊覧は、水位に余裕のある流域内で折り返す。 カヌープログラム時において事故・その他トラブルが発生し、遊覧船に協力を求められた場合、船長は何事も優先して応援・協力するものとする。 <p><カヌー></p> <p>■安全管理</p> <ul style="list-style-type: none"> プログラムを実施するにあたり、必ず保険へ加入する。 プログラム開始時には、行程説明と安全に関するレクチャーを行う。 プログラム参加者には必ずライフジャケットを着用させる。 ガイドは水上安全講習のトレーニングを受ける。 動力船の運航予定を十分に把握し、予め危険を回避するように努める。 プログラム時において事故・その他トラブルが発生した場合、遊覧船に救援を要請する。 <p>■利用者数制限</p> <ul style="list-style-type: none"> ガイド 1 艇あたり、〇〇艇の引率を上限とする。 午前と午後それぞれ〇〇〇名（〇〇艇）を上限とする。

申請フォームNo3「配慮すべき項目（②安全管理）」

配慮項目	内 容
②安全管理	

申請フォームNo3「配慮すべき項目（③地域への配慮）」

配慮項目	内容
③地域への配慮	<p><漁業関係者への配慮></p> <ul style="list-style-type: none"> ・停泊している船舶に対しては曳き波に注意し、最徐行で通過するものとする。 ・川面のカヌーの広がりを防止するよう務め、ガイドはカヌー利用者に周知徹底させる。 ・ガザミ漁の道具について一切触れないものとする。 <p><地域の伝統行事への配慮></p> <ul style="list-style-type: none"> ・●●●祭りや●●●など、行事の進行を妨げないよう配慮する。 <p><●●●猟への配慮></p> <ul style="list-style-type: none"> ・●●●の狩猟期間（〇月〇日～〇月〇日）には、●●●川沿いの山には入らない。

申請フォームNo.3「配慮すべき項目（③地域への配慮）」

配慮項目	内容
③地域への 配慮	

申請フォームNo4「運用上の取り決め」

下記フォームに従い、運用上の取り決めについて記述してください。

取り決め項目	内 容
フィールドの観察・記録の方法	<p><調査時期></p> <ul style="list-style-type: none"> ・月〇回 ・台風後等にも適宜調査を実施する。 <p><調査場所></p> <ul style="list-style-type: none"> ・●●●川下流マングローブ域の2地点 (St.1、St.2) <p><調査者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式会社▲▲▲▲、▲▲観光株式会社、株式会社▲▲▲▲▲▲▲▲ ・各社持ち回りで実施 <p><調査方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・河岸及びマングローブの状況を継続的に記録する。 ・定点からの写真撮影と目視による河岸及びマングローブの状況記録 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・動力船を操業する事業者が本調査を実施することを基本とする。 ・協定締結事業者の会合で、調査結果を共有化する。
新規事業者の協定加入の手続き	<p>新規事業者が協定に加入する場合は、以下の手続きが必要になる。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①新規事業者は、協定内容を熟読し、理解・承諾する。 ②新規事業者は、協定締結事業者の会合に参加する。 既締結事業者の〇分の〇が、新規事業者の安全技術・環境配慮、地域参加等において協定を遵守できるレベルであると判断した場合、協定加入を認める。
締結事業者による違反行為への対処	<ol style="list-style-type: none"> ①違反者には、他事業者より注意を促す。 ②改善が見られない場合は、協定締結事業者間の話し合いにより、一定期間の操業停止。 ③悪質な違反が続けられた場合は、協定締結事業者間の話し合いにより、当該事業者の除名手続きを行う。
検討課題が発生した場合の対応	<p>協定締結事業者の会合で、検討課題を話し合う。</p>
その他	<p>地域住民との話し合いの機会を設け、フィールドの観察記録の報告と意見交換を行う。</p>

申請フォームNo4「運用上の取り決め」

下記フォームに従い、運用上の取り決めについて記述してください。

取り決め項目	内 容
フィールドの観察・記録の方法	<調査時期> <調査場所> <調査者> <調査方法> <その他>
新規事業者の協定加入の手続き	
締結事業者による違反行為への対処	
検討課題が発生した場合の対応	
その他	

参考フォームNo1「協定区域の概要と利用現況」

現在の利用状況（協定区域の概要、事業者の取り扱い総数（概算）、把握されている事業者総数（協定締結事業者を含む））について記述してください。

取り決め項目	内 容
協定区域の概要	<p>●●●川は、日本有数のマングローブ林や樹齢〇〇年のマングローブ、そして●●●や●●●をはじめとする珍しい動植物等、特有の生態系を有する川である。下流域は国の天然記念物指定を受け、上流域は●●●保護地域保存地区、周辺の森林は●●●の指定、さらに●●●公園●●●地域の指定を受けている。</p>
事業者の取り扱い総数（概算）	<p>動力船による遊覧を行う2事業者と、非動力船（カヌー）によるプログラムを行う1事業者がある。 全体での取り扱いは概ね〇〇人/年程度である。</p>
把握されている事業者総数（協定締結事業者を含む）	<p>●●●川で事業活動を行っているのは、3事業者であり、把握されている全ての事業者が保全利用協定に参加している。</p>

参考フォームNo1「協定区域の概要と利用現況」

現在の利用状況（協定区域の概要、事業者の取り扱い総数（概算）、把握されている事業者総数（協定締結事業者を含む））について記述してください。

取り決め項目	内 容
協定区域の概要	
事業者の取り扱い総数（概算）	
把握されている事業者総数（協定締結事業者を含む）	

同 意 書

(代表締結事業者名)

●●●川地区保全利用協定締結代表事業者

株式会社▲▲▲

代表取締役 ●●●● 殿

下記の保全利用協定が資源の利用と保全に貢献し、かつ適切に運用されることを前提として、その内容に同意します。

- 1、保全利用協定の名称： ●●●地区保全利用協定
- 2、協 定 区 域 ： ●●●川及び周辺の森林
- 3、有 効 期 間 ： 平成○○年○○月○○日 ～ 平成○○年○○月○○日

(同意者名)

平成○○年○○月○○日

▲▲▲漁業協同組合

組合長 ●●●●● 印

保全利用協定（区域）との関係

権利者

同 意 書

(代表締結事業者名)

殿

下記の保全利用協定が資源の利用と保全に貢献し、かつ適切に運用されることを前提として、その内容に同意します。

1、保全利用協定の名称：

2、協 定 区 域 ：

3、有 効 期 間 ：平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日

(同意者名)

平成 年 月 日

印

保全利用協定（区域）との関係

記録用紙

保全利用協定について、関係者（地域住民等）へ説明、または話し合い等を行った際に、下記事項について記録を残してください。この記録は、保全利用協定の審査時に参考資料となります。

話し合いの日時	平成〇〇年〇〇月〇〇日 〇〇:〇〇～〇〇:〇〇
話し合いの場所	▲▲▲公民館
参加者 (事業者含む)	<p><事業者></p> <p>株式会社▲▲▲ ●●●●</p> <p>▲▲観光株式会社 ●●●●</p> <p>有限会社▲▲▲▲▲▲ ●●●●</p> <p><関係者></p> <p>●●公民館長 ●●●●</p> <p>■■公民館長 ●●●●</p>
内 容	<p>●●地区保全利用協定の内容について説明し、意見交換を行った。主な内容は、以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協定内容については、了承した。(●●公民館長、■■公民館長) ・地域で実施する伝統行事(●●祭等)への配慮をお願いしたい。(■■公民館長) ・今後も、このような会合を持ち、情報交換を行いたい。(●●公民館長) <p style="text-align: right;">以上</p>

記 録 用 紙

保全利用協定について、関係者（地域住民等）へ説明、または話し合い等を行った際に、下記事項について記録を残してください。この記録は、保全利用協定の審査時に参考資料となります。

話し合いの日時	平成 年 月 日 ~
話し合いの場所	
参加者 (事業者含む)	<事業者> <関係者>
内 容	

報告フォーム「履行状況の報告（①自然環境）」

締結した協定内容（申請フォームNo3 ①自然環境、②安全管理、③地域への配慮）に照らし合わせて、年度毎にその履行状況（どれくらい守ることができたか）をまとめ、下記フォームに記入してください。

配慮項目	内 容
①自然環境 (報告)	<p><参加者への説明></p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットを用いて、参加者に生態系の重要性について十分に説明を行った。 <p><マングローブ林倒木への対応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・協定で定めた巡航速度を遵守し、運用した。現時点において動力船の曳き波によるマングローブの倒木は確認されていない。 <p><干潮時の対応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・干潮時は出来るだけ運行回数を減らすなど、適切に対応した。 <p><混雑の緩和></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1時間あたりの使用する船隻数を〇隻をとして、各事業者間で調整しながら運用した。 <p><■■■棧橋でのルール></p> <ul style="list-style-type: none"> ・■■■の見学は、デッキのみを歩き、柵を越えて森林内に踏み込まないように参加者に呼びかけた。森林内に入りそうになる参加者については適宜注意を行った。 <p><野生生物の生息生育環境への配慮></p> <ul style="list-style-type: none"> ・野生生物への配慮を参加者に促しなら、各種ツアーを実施した。現時点では、ツアーによる野生生物への影響は観察されていない。 <p><ゴミについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業者による集団清掃活動を〇月、〇月、〇月に実施した。 <p><協定区域内において立ち入りを自粛する区域の設定></p> <ul style="list-style-type: none"> ・立入り自粛に関する注意板を作成し対応した。 <p><適切なツアーの人数規模></p> <ul style="list-style-type: none"> ・カヌー1パーティー〇艇とし、運用した。カヌー運用記録簿を作成し、管理している。 <p>なお、フィールドの観察記録結果については、別添に示すとおりである。</p>

報告フォーム「履行状況の報告（①自然環境）」

締結した協定内容（申請フォームNo3 ①自然環境、②安全管理、③地域への配慮）に照らし合わせて、年度毎にその履行状況（どれくらい守ることができたか）をまとめ、下記フォームに記入してください。

配慮項目	内 容
①自然環境 (報告)	

報告フォーム「履行状況の報告（②安全管理）」

配慮項目	内 容
<p>②安全管理 (報告)</p>	<p><動力船></p> <p>■乗船</p> <ul style="list-style-type: none"> 適切な誘導、乗船時の安全確認を行った。また、始業前ミーティングでは適切な乗船方法について確認を行っている。 <p>■航行</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全な速力、徐行区間等のルールを遵守し、運用した。 現時点では、事故は起こっていない。 <p><カヌー></p> <p>■安全管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ガイド及び参加者の保険への加入を行った。 参加者に対する入念な事前説明及びライフジャケットを徹底した。 ガイドは〇月に実施した水上安全講習を受講した。 現時点では、事故は起こっていない。 <p>■利用者数制限</p> <ul style="list-style-type: none"> ガイド 1 艇あたり、上限引率数を遵守した。また、午前と午後それぞれ〇〇名（〇艇）を上限とした運用を実行した。

報告フォーム「履行状況の報告（②安全管理）」

配慮項目	内 容
②安全管理 （報告）	

報告フォーム「履行状況の報告（③地域への配慮）」

配慮項目	内 容
<p>③地域への 配慮 (報告)</p>	<p><漁業関係者への配慮></p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業関係者への配慮を徹底した。 ・現時点では、漁業関係者からの苦情等を受けていない。 <p><地域の伝統行事への配慮></p> <ul style="list-style-type: none"> ・●●●祭の際には、河川敷への進入を自粛するなどの対応を行った。 <p><●●●猟への配慮></p> <ul style="list-style-type: none"> ・狩猟期間（〇月〇日～〇月〇日）には、●●●川沿いの山には入らなかった。

報告フォーム「履行状況の報告（③地域への配慮）」

配慮項目	内 容
③地域への 配慮 (報告)	

フィールド観察記録

調査時期	平成〇〇年〇〇月〇〇日 〇〇:〇〇 ~ 〇〇:〇〇	
調査場所	●●●川下流域 (St.1、St.2)	
調査者	所属団体 株式会社▲▲▲ 氏名 ●●●●●	
調査方法	マングロープの定点写真撮影及び観察等	
観察結果	<p><生物状況></p> <p>St.1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マングロープの占める割合：100% ・マングロープの樹勢：葉が多い <p>St.2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マングロープの占める割合：100% ・マングロープの樹勢：葉が多い (一部枯死している状況あり) <p>両地点とも●●●●●や●●●●●などの生物が多数見られた。</p> <p><物理環境></p> <ul style="list-style-type: none"> ・杭の目盛は0cm で、河岸の顕著な堆積・侵食は見られなかった。 ・コドラート内にゴミは見られなかった。 (周辺にはペットボトルゴミあり) 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;">St.1 のマングロープの写真</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;">St.2 のマングロープの写真</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">杭の目盛の写真</div>

フィールド観察記録

調査時期	平成 年 月 日 ~
調査場所	
調査者	所属団体 氏名
調査方法	
観察結果	

例：「協定区域の利用状況記録」

ツアー等で案内した年間の利用者数（概算）について記述してください。

事業者名	活動内容	利用者数
株式会社▲▲▲	動力船	〇〇人
	カヌー	〇〇人
▲▲観光株式会社	動力船	〇〇人
	カヌー	〇〇人
有限会社▲▲▲▲▲▲	動力船	〇〇人
	カヌー	〇〇人

例：「協定区域の利用状況記録」

ツアー等で案内した年間の利用者数（概算）について記述してください。

事業者名	活動内容	利用者数